



あまの眼科通信 Vol. 17

～2014年1月発行～

春日井市八田町6丁目21-23

電話 0568-56-0002

あまの眼科

検索

p.1 ご挨拶とお知らせ

p.2 知っておきたい目の基礎知識

p.3 よくある疑問 Q&A

p.4 加齢と目の病気を知ろう！

p.5 食べ物と健康のお話

p.6 患者さんの声



こんにちは。あまの眼科クリニック院長の天野喜仁です。
いつもありがとうございます。

2014年がスタートしました！

本年もよろしくお願い致します。

2014年の干支は『午』(うま)です。

昔は移動のための手段（乗り物）として人間の役に立ってきたことからも分かるように、古来より人間との関係が深く、大切にされてきた動物です。

そして、「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」「天高く躍動する」など、縁起のいいイメージのある動物だと思う方も多いことでしょう。

そんな午年ですが、過去の午年にどんな出来事が起こったかをご存知ですか？

たまには、こういった雑学的なお話もおもしろいかなと思いまして、少し調べてみたところ、非常に興味深いことが分かりました。

1954年…世界大恐慌

1990年…バブル崩壊

2002年…ユーロ通貨の流通開始

など、経済に関係する大きな出来事がいろいろ起こっているのが午年なんです。

そういう意味では、世界経済の動きに少し関心を持って過ごしてみるのも興味深い年かもしれませんね！

今年は2月にソチオリンピック、6月からはサッカーワールドカップとスポーツの祭典も非常に楽しみです！

いずれにしても、健康で充実した1年を過ごすことができるよう、一緒に歩んでいきましょう！

誕生日会
こんにちわ！
本日のブログ担当は松浦貴です。
昨日は皆様の誕生日、お誕生日おめでとうございました(*^-^*)
いつもお世話になっていただき、先日お誕生日ケーキがわりに、さつまいもを使った焼き菓子を作りました。
さつまいもは地元農家が栽培したものですね。

いつもお世話になっておりますが、元気で生きてもらいたいです♥
美味しいですが、付録を味わいながらお過ごしください(*^-^*)

四季報
今日の担当は吉田玲です😊

湖側に、四季桜を前に吉田まで行きました。
桜と紅葉が一度に見られるという、なんとも不思議な光景です。
ちょうど見頃だったようでキレイでした♪

AMANO EYE CLINIC
HOME 診療内容 出院で行う検査 クリニック紹介 スタッフブログ

あまの眼科クリニック
TEL: 0568-56-0002
FAX: 0568-56-0002
TEL: 0568-56-0002
FAX: 0568-56-0002
診療時間
9:00~12:00, 16:00~19:00
当院のホームページより
アクセスしてください！



↑
ブログ用QRコード

スタッフブログ
 ピントサイト

第17回 「アレルギー」の基礎知識



その年ごとによって若干の違いはありますが、2月から5月ぐらいにかけて、『**スギ花粉症**』の症状に悩まされる方が増えます。

花粉症になると、**鼻と目に典型的な症状が現れます。**

毎年のように花粉症に悩まされる方もいらっしゃれば、ある年に初めて花粉症の症状が現れる方もいらっしゃいます。

特に、初めて花粉症の症状が現れる方は、「これって花粉症なの？？」と思いつながらも、**病院で診てもらうかどうかの判断に迷ってしまう方も多い**ようです。

今回は、『**目に現れるアレルギー症状**』の基礎知識をお話したいと思います。

● 目に現れる3大症状

花粉症になって目に現れる症状は、**花粉が目につくこと**で、**花粉を除こうと免疫反応が起こる**ことが原因で、次のような症状が現れます。

○ 目のかゆみ



目のかゆみは、症状の中で最も多くの人が悩まされている症状で、**目やまぶたなどに強いかゆみが生じます。**

炎症が起きることがかゆみの原因で、強くかいたり、こすったりすると結膜や角膜を傷つけてしまい、大きな病気になってしまう可能性があるので気をつけましょう。

○ 充血



目の表面に花粉がつくことで、目が炎症を起こしている状態で、**白目の血管がふくらんで赤くみえます。**

○ 涙が出る

目に入った花粉を、涙を流すことで洗い流そうとするために起こる症状で、**普段より涙が多く出たり、涙目になったりします。**

これらが3大症状と言われる典型的な症状ですが、以下のような症状が出る場合もあります。

- ・ 目が**はれぼったい**
- ・ **目やに**が出る
- ・ 目が**ごろごろする**
- ・ **かすむ**
- ・ **まぶしい**
- ・ **痛い**



● 病院で診察してもらいましょう！

これからシーズンにこのような症状が出ると、つい「スギ花粉症だろう」と判断してしまいたくなります。

その結果、「病院で診てもらわなくとも市販の薬で良いだろう…」と考えられがちですが、きちんと病院で診察を受けることをオススメします。

花粉症の**症状の出方や重症度は人によって異なります**し、**薬の効果にも個人差があります。**

また、人によっては**他の花粉が原因で、花粉症の症状が出てる**場合もあります。

つらい花粉症の症状をしっかり抑えるためには、あなたに合った治療を行うことが大切です。

ですから、症状が現れた場合には、きちんと眼科を受診して対処するようにしてください。

よくあるご質問にお答えします！

ちょっと気になる目の疑問



日頃の診療で、皆さんからよくご質問い
ただくことについて、簡単にお話したい
と思います。

同じような疑問をお持ちの方のお役に立てればと思
いますし、周りの方でこんな疑問をお持ちの方がいらっしゃ
いましたら、参考までに教えてあげてくださいね。

それでは、早速お答えしていきましょう！

Q. 疲れ目に効く薬はありますか？



疲れ目にお悩みの方であれば、「疲れ目にすきっと効く
薬があったら良いのに…」と一度は思ったことがある
ことでしょう。

もしそれがあれば、本当にいうことはありませんよね。

爽快感を出したり、ビタミンなどを配合したりして、眼
精疲労を緩和する働きをセールスポイントにしている
点眼薬を目にすることがあります。

しかしながら、本質的には疲れ目がスッキリと治ってし
まうような特効薬は存在していません。

疲れ目が起こる原因は、**環境的な問題**が原因の場合と**目
の病気**が原因の場合とがあります。

「目の病気かな…」と心配されている方も多い症状で
すから、まずは眼科を受診して、疲れ目の症状の原因を
見つけることが大切でしょう。

病気が原因であれば適切な治療を受け、病気が原因でな
ければ環境要因を改善することで対処できますので、**精
神的な安心にもつながる**と思いますよ。

Q. ブルーベリーは目に良いの？



「ブルーベリーは目に良い」というお話を耳にしますよ
ね。その手のサプリメントもたくさんあるようですが、
ところで、**どうして目に良いかはご存知ですか？**

ブルーベリーに含まれる“アントシアニン”という色素
が、暗い場所での見えやすさを良くする働きがあります。

また、体内で悪影響を及ぼす**活性酸素を抑制する**とも言
われるため、このような理由から「目に良い」と言われ
るようになったのです。

確かに、アントシアニンの作用で暗いところでの視覚感
度が良くなり、夜間に物が少し見えやすくなることや、
アントシアニンをはじめとするポリフェノールが活性
酸素を抑制することは証明されています。

ただひとつ問題があって、それはアントシアニンという
色素を摂取しても、**蓄積効果はまったくない**のです。

ブルーベリー以外にも、ナスや紅芋などにアントシアニ
ンが含まれますが、この色素を体内に取り込んでも、1
～2日程度でほぼ全量が体外に排泄されてしまいます。

さらに、活性酸素の抑制から目の疲れをとるというのは
あくまでも仮説であり、いまだにしっかり証明した文献
や論文は存在していません。

結論として、まったく意味が無いものではないと思いま
すが、**たくさん取ったからといってその分だけ多くの効
果が期待できるものもない**ということです。

中には高価な食品もあるようですが、本質的な働きをよ
く理解して、摂取してくださいね。

第7回 「老眼」のお話



今回は、『老眼』についてお話をしたいと思います。医学的には『老視』と言いますが、老眼のほうがなじみ深い言葉かと思います。

“老”という文字にあまり良い印象を与えられないかもしませんが、老眼は**加齢によって誰にでも起こる自然現象**です。

ですから、老眼を受け入れて**上手に付き合っていくこと**が大切だと思いますし、そのためにも老眼のことを少しでも知っていただく機会になればと思います。

● 老眼の症状



老眼の症状には、「**小さい文字が読みづらい**」「**近くのものが見えづらい**」「**暗いところでは文字が読みづらい**」などといったものがあります。

本を読んでいるとピントが合わない、近視用のメガネを外さないと携帯のメールが読めないということはありませんか？

若い頃は薄暗いバーの雰囲気が好きだったけど、最近では薄暗いと字が見えないから明るい居酒屋のほうが好きになったということはありませんか？

日常生活で起こるこのような現象も老眼の症状ですが、近視とは**原因**が全く違います。

近視の原因是、焦点が網膜の手前で結ばれてしまう**屈折異常**です。

一方で、一般的には40代ぐらいから症状が始まる老眼は、水晶体の細胞が**加齢のために**硬くなり、近くを見るときの**目の調整力が衰えること**が原因で手元が見づらくなるので、屈折異常ではありません。

ところで、50歳を過ぎても老眼の症状が無いとおっしゃる方に出会ったことはありませんか？

実は、その方は老眼になっていないのではなく、**老眼であることを気づきにくい目を持っている**だけです。

あるいは、近くを頻繁に見る方は調整力の衰えに気づきやすいですが、そうでない人は調整力が衰えていることに気づきにくいのです。

● 老眼と上手に付き合うために



誰にでも起こる老眼ですから、上手に付き合っていくことを考えなくてはなりません。

一般的には、老眼は**老眼鏡で矯正**します。余談ですが、老眼鏡を英語では何と言うかご存知ですか？

実は、『**Reading Glasses**』と言い、直訳すると“**読むためのメガネ**”となります。つまり、老眼鏡は『**近くの文字を読むために必要なメガネ**』ということです。

このことからも分かるように、**見づらさや症状を感じるようになったら、老眼鏡で矯正する**ようにしましょう。

最近の老眼鏡はフレームのデザインが黒や茶だけではありません。**メガネの選び方が上手だと、5歳ぐらい若返って見える**こともあるのでは？と感じるようなおしゃれなデザインのメガネが増えています。

近視でメガネを使っている方は、いちいち掛けかえるのが面倒という方もいらっしゃるでしょう。

そのような方には、『**遠近両用メガネ**』がありますが、便利な一方で目が疲れやすかったり、視野が狭くなったりする不便もあり、**使う方の好みが分かれ**るところです。

目に良い食べ物を食べよう！

「風邪をひいたら…“ビタミンC”を摂ろう！」



この季節、なんと言っても朝晩や1日ごとの寒暖の差が激しく、**風邪をひきやすい**時期です。事実、体調が優れないという方も多いのでは？

風邪は万病の元。風邪をひいてしまったら、早く治すに越したことはありません！

風邪と特に関係が深いのは、日ごろの食生活。

特に、**ビタミンC**の摂取が効果的だと言われます。

● 免疫力を高めるビタミンC



風邪から身体を回復させるためには、**免疫機能を高める**ことが大切です。

免疫機能を高めるには、**規則正しい生活をして、体力を回復させること**が一番良いのですが、忙しい毎日の中で、なかなかそうもいかないこともありますよね。

そこで、せめて低下した免疫機能を少しでも改善するために、**免疫力を向上させる栄養素を摂るように心がけたい**ものです。

免疫力の向上にオススメなのは、**ビタミンC**。

ビタミンCを摂ることで、**風邪の回復を早めることができます**。

風邪をひいてしまったときに摂取したビタミンCは、**タンパク質の生成を促進**したり、**ウィルスによって荒れた細胞の修復**をしたりしてくれます。

ですから、風邪をひいた時にこそ、ビタミンCを積極的に摂取するようにするといいでしよう。

通常のビタミンC所要量は1日100mgですが、風邪

をひいた時は、250mg～500mgは摂取するようになります。

ビタミンCは水溶性ビタミンなので摂りすぎても過剰症などの悪影響はありません。

ただ、一度に大量摂取するよりも、毎食ごとなど、回数を多くこまめに摂取する方がより効果的です。

風邪を予防する効果も期待できますので、ビタミンCを積極的に摂取して、寒い季節を乗り切りましょう！

<ビタミンCが豊富な食べ物>

白菜、ほうれん草、小松菜、ネギ、カブ、大根、春菊、ピーマン、ブロッコリー、カリフラワー、みかん、りんご、いちご、ゆず、レモンなど

《ビタミンC摂取レシピ》

豚肉のレモンみぞれ鍋♪



<材料（3～4人分）>

- ・ 豚ロース肉 500g
- ・ 大根 1本
- ・ レモン（国内産） 1個
- ・ ポン酢 お好みで

<作り方>

1. 豚肉は食べやすい大きさに切る。大根は皮をむいてすりおろす。レモンは薄切りにする。
2. 鍋に大根おろし、豚肉、レモンの薄切り・・・と交互に重ね、中火にかける
3. 煮立ったら、ポン酢をつけていただく。

お好みで、ネギや白菜、キノコなどを加えていただくと、さらに美味しい鍋になりますよ！

あまの眼科クリニックのご紹介

「患者さんの声」をご紹介します！



当院では、より良いクリニックづくりを実現するために、



ご来院いただく患者さんの『ご意見』『ご感想』をお寄せいただく取り組みを実施しています。

お寄せいただいた患者さんのお便りの中から、当院で白内障の日帰り手術を受けられた患者さんのご感想を紹介したいと思います。

これからも、ご来院いただく患者さんにとって『より安心』して治療を受けることができ、『より親しみやすい』クリニックづくりを目指して参ります！

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

● 62歳・女性の患者さん

神経ピリピリで手術を終えた私に「うまくいったよ」の一言でホッとしました。前よりは明るくなり、今のところメガネなしで生活を送っています。

2. 手術後の率直な感想を教えてください。
例) はっきり見えるようになってビックリした など

神経ピリピリで手術を終えた私に「うまくいったよ」と一言でホッとした

痛みはまったくなく家に帰ってきてから夜先生から電話をくだった事にびっくり
ました。名前は忘れましたが、前よりは明るくなり今朝もメガネ
なしで生活を送っています。

手術後もやさしい言葉をかけて頂き、患者さんを大事にしてくれる「あまの眼科」に
感謝で本当に良かったと心から思っています。

今後も宜しくお願ひします。

● 63歳・女性の患者さん

とてもとてもよく見えるようになり、くもりがぱーっと消えて明るくなりました。見え過ぎて、少々見えなくて良いところまで気になり、おそうじに忙しくなりました。
太陽と車のライトが眩しくないのがうれしいです。

2. 手術後の率直な感想を教えてください。
例) はっきり見えるようになってビックリした など

とてもとてもよく見えるようになりました。
くもりがぱーっと消えて明るくなりました。
見え過ぎて少し見えなくて良い所まで見えたり
おそうじにめらかになりました。
それと、太陽と車のライトが眩しくないのがうれしいです。
ありがとうございます。

● 62歳・男性の患者さん

40年以上かけていたメガネを必要とせず明るく見える。感謝しています。

2. 手術後の率直な感想を教えてください。
例) はっきり見えるようになってビックリした など

40年以上かけていたメガネを必要とせず

明るく見えます。感謝しています。時々、

メガネをかけていた時の癖がございます。



春日井市八田町6丁目21-23

あまの眼科クリニック

TEL 0568-56-0002

<http://www.amano-ganka.jp/>